

私の好みに  
おなじくおなじく

と



DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止





んんっ!

はあうっ!

!?

兄さんの  
おちんちんが  
私の中に...

恥ずかしいから  
あまり:  
見ないで:

んんっ!

んんっ!

んんっ!



えっ!?

どうなってるんだ?



好き...私  
兄さんの事が  
好きっ!

俺は紗霧にー

兄さんの好きなように動いていいよ……

もし何か出ちゃってもその……

私はまだ大丈夫だから……

何をしてるんだ!?





きつとこれも夢...  
って、んなわけないっ!  
ちよつと!ムラマサ先輩  
何をしてるんですかっ!?

お、マサムネ君  
気がついたか

「気がついたか」  
じゃないですよっ!  
何やってるんですかっ!



君はこの女と  
付き合ってるのか?

いいえ

なら私が君と  
デートしても  
問題ないな?





とりあえず

私の好きに  
させてもらおうか



マサムネ君



ああ……夢にまで見た  
マサムネ君の体……  
マサムネ君の乳首……

我慢しなくても  
いつでも己の欲望に  
身を預けてよいのだぞ  
マサムネ君……

私はその乳首を  
舐めている……  
これ以上の  
至福はないぞ



意識があれば  
ちゃんと我慢  
できるんだよ



そんなに私を  
受け入れたく  
ないのか？

本当はまだ回復して  
ないだけだね……

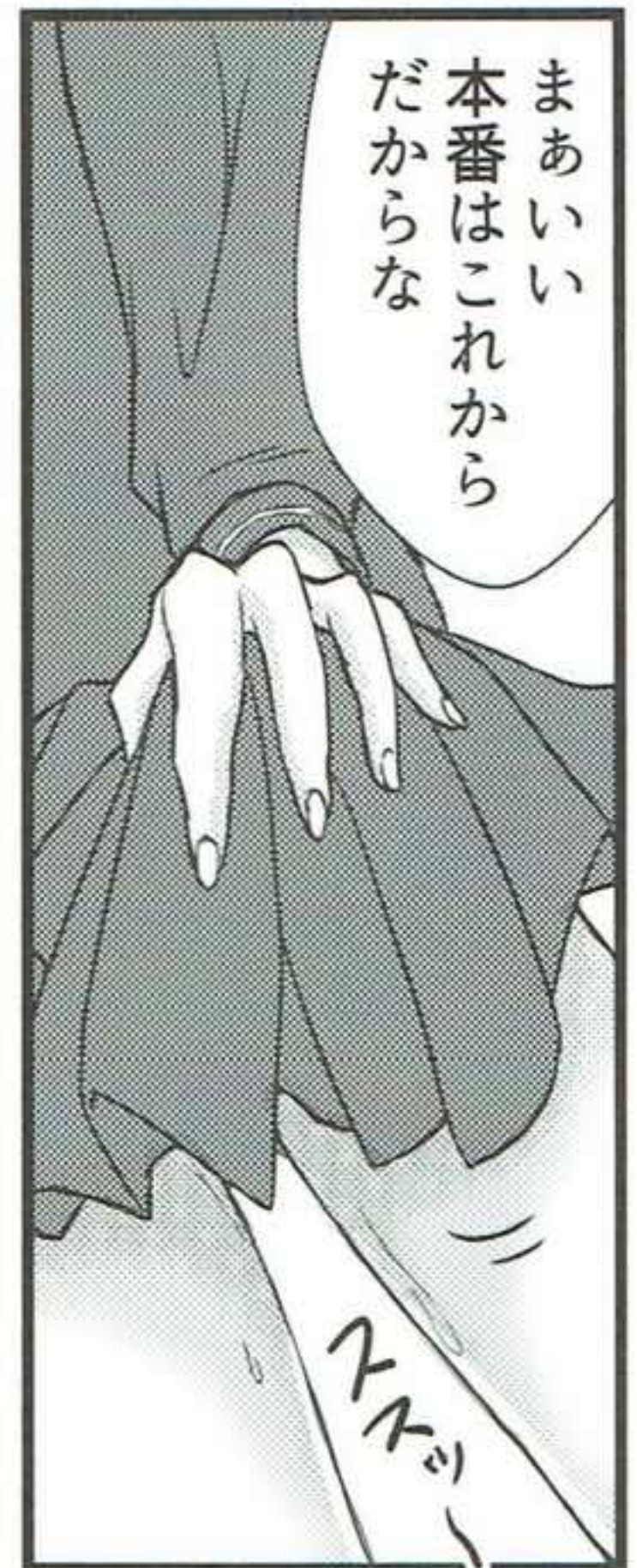


——って  
まるで反応が  
ないのでは  
ないかつ！



ほうらマサムネ君  
女子○学生の  
生パンだぞ

さっきの行為で  
マン汁で多少  
濡れてしまったがな



まあいい  
本番はこれから  
だからな



私の恥ずかしい  
部分が...

マサムネ君に  
挟まれている



ああ、  
そんな理想が  
現実になる  
なんて...

ぞくぞく  
するぞ



むしろ男性は  
濡れている方が  
興奮すると  
聞いた事がある

私の生パンの  
味はどうだ？  
美味しいか？



さあ、これが  
おまんこだ  
生のおまんこを  
見るのは初めてか？



だいぶ大きくなってきたが  
まだ硬さが足りないな



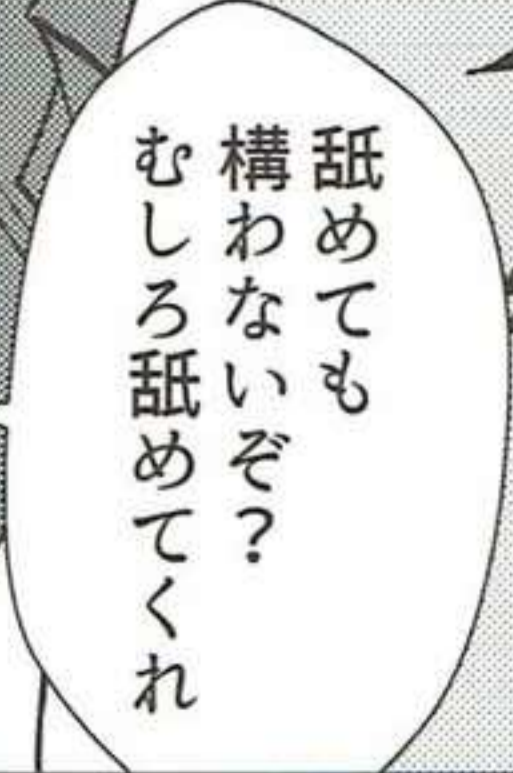
ここから物語を  
更に盛り上げて  
行こうではないか



これが女の子の  
性器だぞ



どうした？  
遠慮はいらんぞ  
マサムネ君



舐めても  
構わないぞ？  
むしろ舐めてくれ





まだ出しては  
ダメだぞ  
マサムネ君

私の外で  
果ててしまつては  
駄作になってしまう

物語はマサムネ君が  
私の中で最高潮に  
達するのだからな

二人で最高の  
結末を迎えよう  
ではないか

ふんっ♡

んっ♡



入って  
もらおうか

では  
私の中に

んっ♡

んっ♡



ぞくぞく  
するな  
マサムネ君





これは……

気持ち良すぎだぞ！



まだ動き始めた

ズン

ばかりなのに……

ズン

ズン



あーもう……

意識がトびそうだ……

あ

ハッ

ハッ

アッ



さあ一緒に  
クライマックス  
を迎えようか



大好き——っ!!

マサムネ君!!

気持ちいい!  
大好きだぞ!  
マサムネ君ツ!!

スッ

びしょ

スッ

あ!!

あ!!

スッ

スッ



これからも  
よろしく頼むぞ  
マサムネ君

今日はありがとう  
いい作品が  
出来そうだ

びしょ

どろっ

## ■あとかき

ここまで読んで下さりありがとうございました。

アニメの水着回を見てからというもの  
いつかムラマサ先輩の豊満なボディと戯れたい！と  
思っており、ようやくここに実現できました。

ムラマサ先輩と言えば、やはりヤンデレ要素を  
盛り込まねばならないと思い、ムラマサ先輩から  
攻められる方がドキドキしますよね！

そ、そんな事できるわけないだろう！とかいいながら  
暴走すると、凄い事をやってきそうで…(妄想)

そんなわけで、ちゃんとマサムネが先輩の家に呼ばれて  
お茶を飲んで、気が付いたら柱に括り付けられている  
という設定を考えていたのですが  
改めて読むと全然伝わってこないですね…(泣)

こんな事もあるかと、ここでサプライズ！！

このあと2ページ続きますので、家に呼ばれた設定と  
事の終わりのアフターストーリーを用意しました！  
(実は18ページで作っていて、2ページ足らなくて  
入稿2日前に気づいて慌てて足したなんて言えない…)

そんなわけで、エロマンガ先生のアニメも二期が始まる事を  
祈りまして、このまま読み進めて頂けたらと思います。

以上、くろでした。

そう——

俺はあの日

新作が出来たから  
俺に見せたいって

ムラマサ先輩の家に  
呼ばれたんだった……



いらっしやい  
マサムネ君  
とりあえずお茶でも  
飲んでくつろいで  
いってくれ

う、うん……  
いただきます



美味しいか？

はい……



では、私は原稿を  
取ってくるから  
それまでの間  
ゆっくりして  
いてくれ

うっ！？

あ——もし  
眠くなったら  
眠っていてくれて  
構わないぞ



おしまい

## ■奥付

発行誌名：とりあえず、  
私の好きにさせてもらおうか  
発行日：2017年12月31日  
発行：苫屋の滝  
著者：くろ  
印刷所：有限会社 金沢印刷(敬称略)

## ■注意事項

- ・18歳未満の閲覧・購入・譲渡を禁止します。
- ・無断転載・無断複製を禁止します。
- ・WEB等への無断アップロードを禁止します。

よろしくお願い致します。

## ■サークル情報

TwitterID：kuroTwT  
pixivID：197432



常屋の滝  
TOMAYA NO TAKI